

仲間と共に運動に親しむ児童
(→体育の見方・考え方を働かせて、運動にかかわる児童)

授業時間

余暇の時間

できる → わかる

かかわる

単元ごとに「かかわる」
ことを下支えに「できる」
「わかる」を往還

高学年 運動の楽しさや喜びを味わう段階

具体的な姿

- ・視点を言いながら、自分なりの運動の楽しさを語ることができる。
- ・運動ごとの面白さの共通点を見出したり、違いを語ることができる。
- ・仲間との関わりや資料活用をしながら課題を解決できる。
- ・「する・見る・支える・知る」など運動と自分の関わり方が分かる。

SEタイム

中学年 運動の楽しさや喜びに触れる段階

具体的な姿

- ・仲間とのふりかえりの中から視点を共有できる。
- ・ふりかえりから自分にあつためあてを立てることができる
(めあてとふりかえりが関連している。)
- ・自分の考えを友達に伝えることができる。
- ・主体的に学習に取り組んでいる。

スポーツ
チャレンジ

低学年

運動の楽しさに触れる段階

具体的な姿

- ・自分から思いっきり運動遊びを楽しんでいる。
- ・活動のふりかえりをするができる。自分のめあてが立てられる。
- ・単元が終わった時に「〇〇が面白かったよ・楽しかったよ」と話せる。

運動遊び